



平成 24 年 1 月 16 日

各 位

東京都墨田区吾妻橋三丁目3番2号
株式会社ペッパーフードサービス
代表取締役社長 CEO 一瀬 邦夫
(コード番号: 3053)
問い合わせ先 総務部長 猿山 博人
電話番号 03(3829)3210

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 23 年 7 月 13 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 23 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 23 年 1 月 1 日 ~ 平成 23 年 12 月 31 日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,342	173	166	109	4,495円15銭
今回修正予想(B)	5,176	132	128	25	1,026円10銭
増減額(B-A)	166	41	38	83	
増減率(%)	3.1%	23.7%	22.9%	77.1%	
(ご参考) 前期実績(平成22年12月期)	5,555	72	16	79	3,289円87銭

2. 業績予想の修正の理由

平成 23 年第 3 四半期以降、東日本大震災の影響により当初計画より未達成となっていた売上、利益の挽回を図るべく、ペッパーランチ部門においてはお客様の満足度を高めることを基本的な戦略として営業活動を進めてまいりました。また、「ワイルドジューシーカットステーキ」をパラマウント映画の「ランゴ」とタイアップ企画キャンペーンを実施するなど、ワイルドジューシーカットステーキの認知向上を図ってまいりました。

また、レストラン部門につきましては業態や立地条件ごとのメニュー政策の見直しによる顧客満足度の向上に取り組むことにより、売上高の拡大に努めてまいりました。ヤングファミリー層を対象としたサラダバー付きの「太陽の家族くに」を新業態として立ち上げ、既存ブランドであるステーキ業態の「炭焼ステーキくに」をはじめ、とんかつ業態の「こだわりとんかつ かつき亭」、洋食業態の「ステファングリル」の3業態を更なるサービスの向上を徹底するとともに、業態や立地条件ごとのメニュー政策の見直しによる顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。

しかしながら、原発事故の放射能汚染問題による食材への風評被害があったこと、及び節電に伴い特にフードコート内の店舗においては顧客が熱い料理を敬遠する傾向がみられたことにより、全社的にはコスト削減を徹底し販売管理費の削減に努めてまいりましたが、売上、利益ともに計画通りの数値を達成することができませんでした。

なお、特別損失項目では、第 2 四半期までに、震災に伴う損失が 8 百万円、減損損失が 10 百万円、第 3 四半期に減損損失が 21 百万円発生しております。

その結果、当初計画に対し売上高は 166 百万円減少し、営業利益の減少額は 41 百万円、経常利益の減少額は 38 百万円、当期純利益の減少額は 83 百万円となる見込みです。

以上から、通期の業績予想につきましては、売上高及び利益につきまして修正致します。

(注) 上記に記載しております業績予想に関しましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社にて判断したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、実際の成果や業績等は記載の予測と異なる可能性があります。

以 上